

富津干潟(富津海岸)の観察

報告者：大野幸正（生き生き東京湾研究会）

日 時：2024 年 5 月 9 日（木） 10：00～12：00 干潮時刻 11：27 天気 曇

場 所：富津干潟（富津漁業協同組合の富津海岸潮干狩り場）

2023 年、「富津海岸の潮干狩り場でハマグリが大漁」との情報があったので、7 月 4 日に現地状況を見てきました。2024 年は、その後の状況を確認しに、富津干潟の潮干狩り場に来ました。

潮干狩り場よりも東側に観察のラインを設定したのですが、比較的岸寄りでは、潮干狩り場に撒いた貝類の今年の入場料は 2200 円（制限重量：2kg）で、昨年よりは 200 円値上がりしていました。

富津潮干狩り場の観察地点は図-1 に示す 7 地点で、熊手、ステンレス製ふるいを用いて底生動物の状況を確認しました。ハマグリは

平日で、朝まで雨混じりの曇りだったので、潮干狩り客はまばらでしたが、しっかりとハマグリを獲っていました。潮干狩り客の行動範囲は、潮干狩り場内のみとのご注意が、職員さんからありました。



観測期間：2024年05月09日～2024年05月15日

観測地点：東京港波浪観測所

期間：05月09日～05月15日

波向

有義波高(m)

風速(m/s)

流速(cm/s)

潮位(cm)

推算潮位

日表

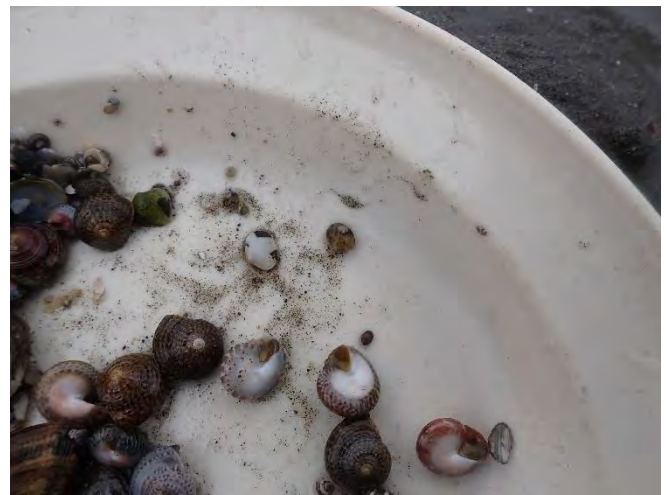
■ 地点 01（岸付近）大人数で、熊手で探すと、岸の近くなのにハマグリが出ました。



- 地点 02（岸から 50m ほど沖合）ハマグリ、アサリがぼろぼろと出てきました。組合で撒いていないと聞いていたはずのバカガイもありました。



■ 地点 03 (岸から 100m ほど沖合) この辺りではコアマモ群落が広がり、アマモが散在していました。アサリ、キサゴを確認しました、ハマグリは出ませんでした。たも網では、ハゼ類、エビジャコ、アサリ稚貝を確認しました。



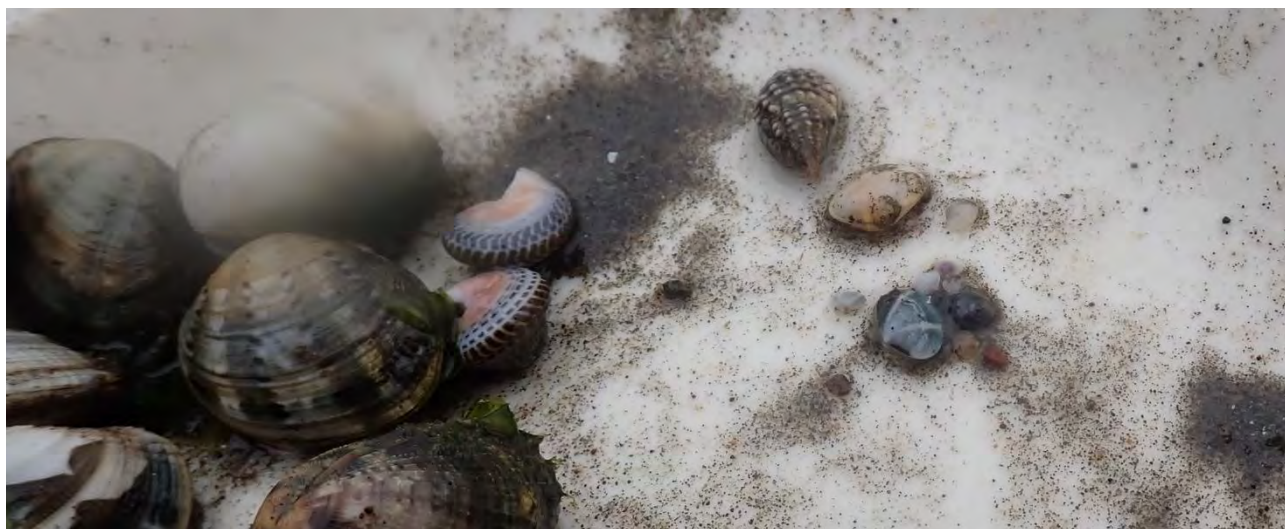
■ 地点 04（岸から 200m ほど沖合）コアマモ群落が生息、アマモが点在していました。キサゴは比較的多いのですが、アサリは少々確認しました。



■ 地点 05（岸から 300m ほど沖合）アマモが点在していました。キサゴが比較的多いなかで、アサリの稚貝、バカガイ、シオフキガイ、カニではガザミ（ワタリガニ）を確認しました。流れ藻のワカメがありました。



■ 地点 06（岸から 350m ほど沖合）潮干狩り場の沖合に、網で囲まれたところがありました。その外側でしたが、比較的立派なアサリが育っていました。職員さんからの注意があり、写真を撮ってその場で放流しました。アサリの稚貝もありましたので、地のアサリが育つようになると思います。



■ 地点 07 (岸から 450m ほど沖合) ここまで、歩いていて足が比較的沈み込みことの無い砂地です。
キサゴ、アサリの他に、バカガイ、シオフキガイを確認しました。



■ その他の生き物

① アオリイカの卵塊 と思われる



② ツメタガイとアカニシ



③ 流れついたワカメ



■ 漁獲物 すべて潮干狩り場内で獲りました。



■ 漁獲物の調理

① アサリのバター炒め



② アサリの味噌汁



③ 茹で身の比較 バカガイ、 シオフキガイ、 ハマグリ、 アサリ

